○現行制度の改善又は拡充を求めるもの

区分	■ 新　規　　□ 再提案		
種類	■ 現行制度の改善又は拡充を求めるもの □ 新たな施策の要望又は提案を求めるもの □ 特に市町村への財政支援策等を求めるもの □ その他（　　）	分野	□ 総務文教 □ 社会環境 ■ 経済 □ 建設
要望先	□ 国	担当省庁	
	■ 県	担当部局	観光部
	■ その他	名　　称	（一社）長野県観光機構

件名	**10　信州ＤＣに向けた二次交通の整備及び運行経費の支援拡充について**
提案市	伊那市
提案要旨	平成29年度は信州デスティネーションキャンペーン（以下「信州ＤＣ」という。）の本番を迎える。この取組により観光誘客を拡大し、信州ＤＣを成功させるため、ＪＲの主要駅から観光地を結ぶ二次交通の整備及び運行経費等の支援を要望する。
提案理由	信州ＤＣはＪＲとのタイアップ事業であるため、鉄道輸送力が脆弱な地域にとって、信州ＤＣを最大限に活かすには、ＪＲ各社の主要駅（特急停車駅）からの二次交通整備が必要である。 特に、増加傾向にある外国人や自動車を持たない都会の若年層が県内観光地を容易に周遊できるようにするためにも、二次交通が欠かせない状況であり、駅を起点とした観光地への移動手段の早急な整備を望むものである。 加えて、市町村等で二次交通を整備する場合には、運行経費やＰＲ経費等に相当な費用がかかることから、県の助成を要望する。 なお、現行の長野県観光機構の周遊バス支援は、新たな路線という要件から運行初年度のみの支援であることから、継続的な支援を要望する。
現況及び課題等	伊那市には、特急電車の乗り入れがなく、最も近い停車駅は茅野駅と木曽福島駅になるが、ここから本市への定期路線バスは運行されていない。鉄道を利用し駅を起点として県内観光地を周遊することは不便な状況である。信州ＤＣを成功させ、その後も継続して誘客に取り組むには、鉄道を利用し県内を周遊できる環境を整備することが必要である。 当市では、信州ＤＣやその先の観光誘客を見据えて、茅野駅と木曽福島駅からの季節運行の二次交通バスを運行しており、定着しつつあるものの、運行にあたっては、相当な費用がかかるため、赤字が続いている。県内のこのような路線が継続して運行していくための財源確保が求められている。
関係法令	周遊バス支援実施要領（（一社）長野県観光機構）